

鳥飼まちづくりグランドデザイン説明会



③企業と住民の共存発展エリア

2回目

令和6（2024）年5月26日

本日の内容

1. 鳥飼まちづくりグラウンドデザインについて
2. 前回の説明会で頂いたご意見の紹介
3. 小学校跡地活用の事例紹介
4. 今後の進め方等について

本日の内容

1. 鳥飼まちづくりグラウンドデザインについて
2. 前回の説明会で頂いたご意見の紹介
3. 小学校跡地活用の事例紹介
4. 今後の進め方等について

鳥飼まちづくりグランドデザインについて

1 鳥飼まちづくりグランドデザインの考え方

地域の課題

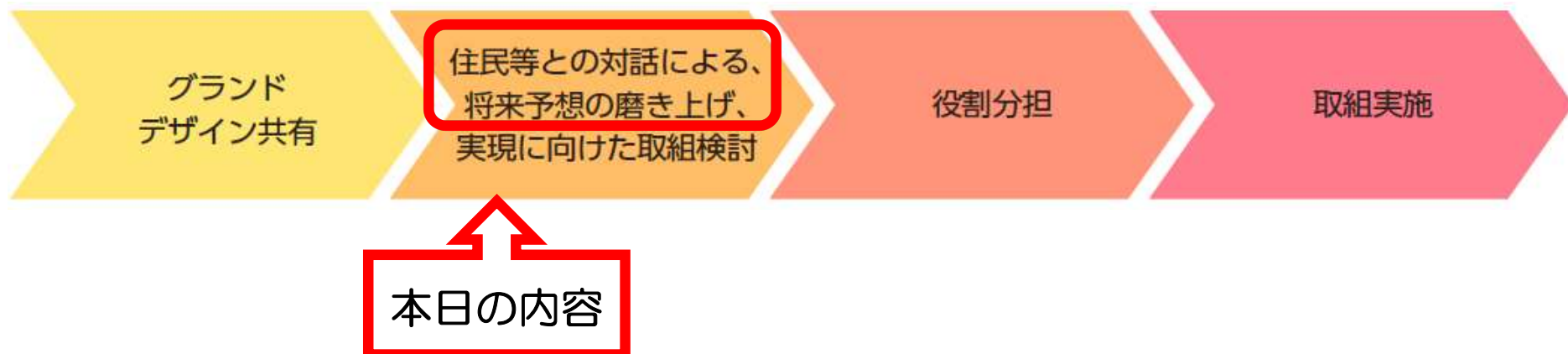
自然災害、公共施設の老朽化
少子高齢化の進展、人口流出、地域コミュニティの希薄化

目指す姿

住民の生命と身体を守る「危機管理（防災）」の観点を軸
誰もが「安全・安心」に過ごし、
「にぎわい」と「暮らしやすさ」が調和したまち

鳥飼まちづくりグランドデザインの策定

2 鳥飼まちづくりグランドデザインの進め方



鳥飼まちづくりグランドデザインについて

③企業と住民の共存発展エリア 将来予想・現況と課題・課題解決に向けた取組の方向性

【将来予想】

- ・緩衝帯などにより道路と居住区が分かれている
- ・歩行、自転車空間が整備されている

【現状と課題】

- ・幹線道路へのアクセスが確保されているが、大型車の走行や通過交通により、歩行者が危険と感じる
- ・居住者にとって、安心、快適な道路空間の確保が必要

説明会当日資料（鳥飼まちづくりグランドデザイン）P52

【課題解決に向けた取組の方向性】

（１）住民の徒歩や自転車での移動、子どもの通学などが安心・快適にできるよう、道路空間の改良に努めます

＜取組イメージ＞

◎誰もが移動しやすい環境づくり／子どもや高齢者にやさしい環境づくり

- ・生活道路の交通安全対策
- ・自転車通行空間の整備
- ・緩衝緑地帯などの沿道環境の保全対策

説明会当日資料（鳥飼まちづくりグランドデザイン）P53

鳥飼まちづくりグランドデザインについて

③企業と住民の共存発展エリア 将来予想・現況と課題・課題解決に向けた取組の方向性

【将来予想】

- ・水害発生のある場合、住民と企業関係者が協働して避難行動要支援者(高齢者や障害者等)の避難支援を行った後に、自らの広域避難を行う。
- ・災害発生後は、住民と企業が連携して自らの安全を確保した後に、企業の有するトラックやフォークリフト等を活用し、地域の復興を促す。

【現状と課題】

- ・水害時は企業も大きな被害を受けると想定されるため、水害リスクを正確に理解し、BCP(事業継続計画)を作成し、危機管理を徹底することが必要
- ・昼間、夜間別の災害対策が必要

説明会当日資料（鳥飼まちづくりグランドデザイン）P52

【課題解決に向けた取組の方向性】

（２）水害時に住民と企業が協働して適切な防災体制を構築できるよう、地域防災力、減災力の強化を図ります

<取組イメージ>

◎自助、共助、公助(みんな)でつくる安全安心／つながってみんなが活躍できる環境づくり

- ・企業の水害対応BCP(事業継続計画)の策定支援
- ・企業と住民との連携の場づくり
- ・企業と連携した災害対策の検討(地域版防災マップの推進等)

説明会当日資料（鳥飼まちづくりグランドデザイン）P53

鳥飼まちづくりグランドデザインについて

③企業と住民の共存発展エリア 将来予想・現況と課題・課題解決に向けた取組の方向性

【将来予想】

- ・住民と企業が地域のまちづくりについて議論する良好なコミュニティが形成
- ・コミュニティの担い手として外国籍の住民が自治会等の様々な場面で活躍し、多文化共生社会が実現されている。

【現況と課題】

- ・住民と企業の接点がなく、コミュニケーションが取りづらいため、円滑な避難や早期復興のための協力などについて協議する場を設けることが必要
- ・生活習慣等の相違や言語の違いによるコミュニケーション不足から、日常生活でのトラブルなどの課題

説明会当日資料（鳥飼まちづくりグランドデザイン） P52

【課題解決に向けた取組の方向性】

（３）企業と住民が協力して地域の課題解決・防災力強化やまちづくりについて取り組む努力を支援します

<取組イメージ>

◎自助、共助、公助(みんな)でつくる安全安心

- ・企業防災の推進

◎つながってみんなが活躍できる環境づくり

- ・多様な活動を生み出す協働の土壌づくり
- ・地域住民を対象とした工場見学の実施
- ・誰もが集まることができる公園の整備

説明会当日資料（鳥飼まちづくりグランドデザイン） P53

鳥飼まちづくりグランドデザインについて

③企業と住民の共存発展エリア 将来予想・現況と課題・課題解決に向けた取組の方向性

【将来予想】

- ・誰もが利用でき開放的で居心地が良い公園では、キッチンカーが出店し、近隣住民や企業関係者等、多様な人が集まり賑やかな空間が創出されている

【現状と課題】

- ・比較的大きな都市公園がいくつかあるが、多様な人々を集める催しは多くないため、公園を鳥飼地域の魅力として積極的に活用することが求められる

説明会当日資料（鳥飼まちづくりグランドデザイン）P52

【課題解決に向けた取組の方向性】

- （４）エリア内の公園を、多様な人々が集まり、憩い・にぎわえる、ゆとりのある空間となるよう取り組みます

＜取組イメージ＞

◎地域資源を活かしたにぎわい・魅力あふれる環境づくり

- ・誰もが集まることができるよう新たな機能を追加した公園の整備及び緑化

説明会当日資料（鳥飼まちづくりグランドデザイン）P53

鳥飼まちづくりグランドデザインについて

③企業と住民の共存発展エリア 将来予想・現況と課題・課題解決に向けた取組の方向性

【将来予想】

- ・ 銘木だからこそ感じる良さを世界に発信する場所として注目
- ・ 各企業が実施する工場見学や職業体験に近隣市から人々が集まってくる

【現状と課題】

- ・ 銘木団地の良さを周辺地域へ周知するために、銘木団地に関する情報について、近隣住民と協働して積極的に発信する必要がある

説明会当日資料（鳥飼まちづくりグランドデザイン）P52

【課題解決に向けた取組の方向性】

（５）住民と企業が互いの理解を深め、交流するとともに、大阪銘木団地などを観光資源として活用し、魅力を広く発信します

＜取組イメージ＞

◎地域資源を活かしたにぎわい・魅力あふれる環境づくり

- ・ シェアサイクルの導入
- ・ 公衆Wi-Fiの整備
- ・ 工場見学や作業体験の実施
- ・ 大阪銘木団地の魅力発信

説明会当日資料（鳥飼まちづくりグランドデザイン）P54

鳥飼まちづくりグランドデザインについて

エリア全体 課題解決に向けた取組の方向性

①魅力ある教育環境

【課題解決に向けた取組の方向性】

- (1) 学校規模及び配置の適正化を図ります
- (2) 社会変化等に適応した教育の充実を図ります
- (3) 学校施設の有効活用を図ります

③地域コミュニティ活動の活性化

【課題解決に向けた取組の方向性】

- (1) 自治会・町会の活性化の促進等に努めます
- (2) 市民活動団体や事業所等による多様な活動を支援し活性化を図るとともに、担い手をコーディネートする中間支援機能の充実を図ります
- (3) 誰もが集え、つながることができる「場」の創出に努めます

⑤ICTを活用したまちの発信力の向上・コミュニケーションの強化

【課題解決に向けた取組の方向性】

- (1) ツイッターやフェイスブックなどのSNSをはじめ、ICTを活用した情報発信を強化します
- (2) ICTの活用によるプラットフォームの構築等、地域の様々な方々のコミュニケーションの場づくりを進めます

②利用しやすい公共交通

【課題解決に向けた取組の方向性】

- (1) 自動運転技術の進展や社会環境の変化、防災の観点などを踏まえた、鳥飼地域を超えて摂津市全体として持続可能な公共交通体系の構築を目指します
- (2) コンパクトで平坦な地域の特性を活かして、公共交通だけでなく自転車交通についても利用を奨励し、そのための安全で快適な自転車ネットワークの形成などインフラ整備も推進します

④魅力ある公園

【課題解決に向けた取組の方向性】

- (1) 既存公園において、多くの人が集い、にぎわい、防災機能も備えた多機能化を進めます

本日の内容

1. 鳥飼まちづくりグラウンドデザインについて
2. 前回の説明会で頂いたご意見の紹介
3. 小学校跡地活用の事例紹介
4. 今後の進め方等について

前回の説明会で頂いたご意見の紹介

頂いたご意見	取組みの方向性
2-3年前に、鳥飼地区に係る安威川河川の土砂撤去工事を実施したことは承知しているが、再度河川の中がジャングルのように雑草、樹木の生い茂る状態になっている。国交省、もしくは大阪府土木局かの管轄ではあろうが安威川氾濫の要因になると思う。その対策が是非急務では。	(2) 水害時に住民と企業が協働して適切な防災体制を構築できるよう、地域防災力・減災力の強化を図ります
避難所、ペットOKかは大事。摂津にはペット受け入れ先がない。車で避難できないのはどうか？高齢者は歩いてはムリです。	

前回の説明会で頂いたご意見の紹介

頂いたご意見	取組みの方向性
この地域は、大阪府の企業誘致に有利な〈準工業地域〉も多く、その優位性を積極的に活用すべきだと思います。	(3) 企業と住民が協力して地域の課題解決・防災力強化やまちづくりについて取り組む努力を応援します
災害後のより早い復旧、復興を目指すために特化したエコタウン事業構想企業群の誘致なども考慮してはどうか。	
どの様に解決出来るか分からない問題が多数存在するのでなるべく多くの人を巻き込んで問題の解決案を出してもらう 熱心に取り組んでくれる人を探すか育てる	
地域住民の一人として、定められた美化運動等には、極力参加する。 次世代のことを考え、高齢者となった現在も、行政に関心を持ち、考えていく姿勢を保てるよう努める。市民の義務として・・・	

前回の説明会で頂いたご意見の紹介

頂いたご意見	取組みの方向性
小さな子どもを持ったママが行きたくなるような公園	(4) エリア内の公園を多様な人々が集まり、憩い・にぎわえる、ゆとりのある空間となるよう取り組みます
駐車場がないのでせんだん公園に小さな子どもを連れて歩いて行きましたが、本気で公園に遊びにきて欲しいと思っている？ この夏の暑さで子どもに水遊びさせたいなと思ったけど、せんだん公園の水場は無理。何のために水流しているのか？ただ流しているだけ？税金の無駄じゃないのか？	
鳥飼地域に高齢者の運動するところがない。	
なぜ公園に駐車場ないのか？車がないと不便な街なのに。あんな汚いし壊れたベンチを置いて。座る気も失せます。ちなみに他の公園のベンチも汚くて壊れてる。知っていますか？	

前回の説明会で頂いたご意見の紹介

頂いたご意見	取組みの方向性
こども園などに幼児教室を入れるなど、幼児教育に力を入れる 小学校の統廃合に伴う小中学一貫校	エリア全体 ①魅力ある教育環境
安威川以南・以北の問題については、かねてより言われていたが、児童数の減少により、鳥飼地区の”田舎化”が増したように思う。そして、それは学力の差にもつながるのでは？	

前回の説明会で頂いたご意見の紹介

頂いたご意見	取組みの方向性
セッピー号ですが、鳥飼東公民館をとばさないでほしい。 土日も運行してほしい。摂津市民図書館も通ってほしい。 千里丘までのばしてほしい。	エリア全体 ②利用しやすい 公共交通
バスの減便がある。交通渋滞	
セッピー号を土日も運行させる	



地域公共交通会議で検討を開始

前回の説明会で頂いたご意見の紹介

頂いたご意見	取組みの方向性
新鳥飼公民館は古くてエレベーターがない 体育施設が少ない	エリア全体 ③地域コミュニティ 活動の活性化
新鳥飼公民館をすべて体育施設にする。プールやトレーニング施設なども作る	
公民館を複合施設に建て替える。	

本日の内容

1. 鳥飼まちづくりグラウンドデザインについて
2. 前回の説明会で頂いたご意見の紹介
3. 小学校跡地活用の事例紹介
4. 今後の進め方等について

小学校跡地活用の事例紹介



文部科学省



廃校活用事例集

未来につなごう

みんなの廃校プロジェクト



事例-1 群馬県みどり市 旧福岡西小学校

社会教育施設として活用

みどり市多世代交流館

事例-2 千葉県鋸南町 旧保田小学校

都市交流施設・道の駅として活用

都市交流施設・道の駅保田小学校

事例-3 和歌山県海南市 旧第一中学校

スポーツセンターとして活用

海南スポーツセンター

事例-4 鳥取県八頭町 旧隼小学校

コミュニティ複合施設として活用

隼 Lab. (はやぶさらぼ)

事例-5 大阪府堺市 旧堺市立商業高等学校

大学として活用

関西大学人間健康学部 (堺キャンパス)

小学校跡地活用の事例紹介

事例-1

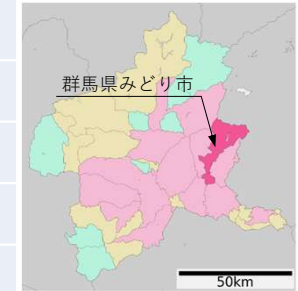
群馬県みどり市 旧福岡西小学校

社会教育施設として活用

みどり市多世代交流館



人口	48,194人(2024年3月1日)
建築年度	1973(昭和48)年度
活用開始年度	2019(令和元)年度
活用事業者名	みどり市
施設の規模	2,428㎡



施設の概要

多世代交流館は、市民の生涯学習、市民や子育て親子の交流等を推進することを目的として、活動室や多目的ホール、和室、調理実習室など18部屋と体育館や多目的広場を備えた施設である。子育て応援施設（子育てを支援する様々な活動をはじめ、子育て親子の交流等を促進する拠点となる施設）としての特徴ももっている。

廃校活用の効果

- ・既存教室を生かした多目的ホールなどで講座やサークル活動など多くの市民のコミュニティ拠点として利用者が増加している。
- ・校庭はスポーツや地域主導の大きな行事も行われている。
- ・市の指定避難場所として地域の防災拠点として活用



Before After



小学校跡地活用の事例紹介

事例-2

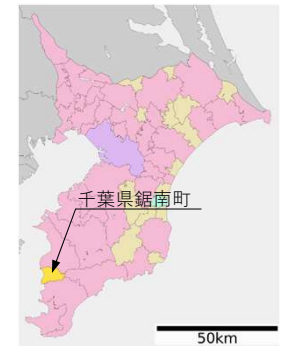
千葉県鋸南町 旧保田小学校

都市交流施設・道の駅として活用

都市交流施設・道の駅保田小学校



人口	6,347人(2024年3月1日)
建築年度	1967(昭和42)年度
活用開始年度	2015(平成27)年度
活用事業者名	鋸南町
施設の規模	14,236㎡他



施設の概要

「小学校」の名前がつく全国初の道の駅であり、校舎棟は飲食・物販施設、簡易宿泊施設、公衆トイレ等を備え、体育館は直売所として活用している。

廃校活用の効果

- ・ 2015年12月の開業から2021年度までの施設全体の累計集客数は、レジ通過者数で約160万人。
- ・ 2021年度までの施設全体の累計売り上げは約32億7千万円。
- ・ 開業から2021年度までの指定管理者及びテナントを含めた平均雇用者数は53名で、地域の新たな雇用の場としても寄与している。



小学校跡地活用の事例紹介

事例-3

和歌山県海南市 旧第一中学校

スポーツセンターとして活用

海南スポーツセンター



人口 45,718人(2024年3月1日)

建築年度 1977(昭和52) 年度

活用開始年度 2015 (平成27) 年度

活用事業者名 指定管理者

施設の規模 (土地) 11,997.70㎡

(建物) 1,615.50㎡



施設の概要

フットサルコート、ジュニアサッカーコート、体育館、簡易宿泊施設等が一体となった複合型のスポーツ施設として活用。スポーツ少年団や学校の部活動・サークル等のスポーツ合宿等で利用することができる。

廃校活用の効果

- ・地域のシンボルともいえる学校施設を活用することで、廃校に伴い懸念された周辺地域の活力低下を防ぐことができる。
- ・学校が地域に果たしてきた避難施設や施設の地域開放といった役割を引き継ぐとともに、既存の体育館を核として可能な限り市民が望む施設等を整備することで、市民サービスの向上や市全体の活性化等を図ることができた。

Before After



小学校跡地活用の事例紹介

事例-4

や ず ち ょ う は や ぶ さ し ょ う が っ こ う
鳥取県八頭町 旧 隼 小学校

コミュニティ複合施設として活用

隼 Lab. (はやぶさらぼ)

人 口	14,832人(2024年3月1日)
建築年度	1993 (平成5) 年度
活用開始年度	2017 (平成29) 年度
活用事業者名	(株)シーセブンハヤブサ
施設の規模	2,263.15㎡



施設の概要

施設の1階には、地域住民に開かれたコミュニティ空間を整備。2・3階には、ビジネス空間を設計・整備。建物前面には芝生グラウンドを整備し、体育館の貸出利用も行っている。また、グラウンド用地への駐車場増設等を実施している。

廃校活用の効果

- ・ 民間事業者の運営により、本来かかる維持管理費用の削減につながるなど、財政的なメリットが大きい。
- ・ グラウンドが指定緊急避難場所、体育館が指定避難所として指定されており、これらの維持管理が継続してている。
- ・ 廃校後も地域住民が集まれるコミュニティスペースとして維持し、地域活力の衰退防止につながる。



小学校跡地活用の事例紹介

事例-5

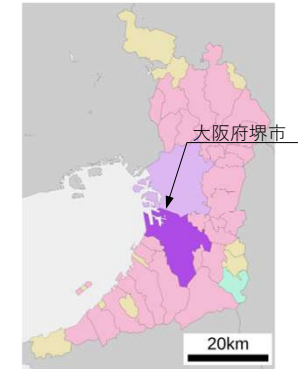
大阪府堺市 旧堺市立商業高等学校

大学として活用

関西大学人間健康学部（堺キャンパス）



人口	808,404人(2024年3月1日)
建築年度	1982（昭和57）年度
活用開始年度	2010（平成22）年度
活用事業者名	学校法人関西大学
施設の規模	23,225.8㎡



施設の概要

関西大学人間健康学部が入る堺キャンパスとして活用され、健康と福祉、スポーツと健康等を教育研究のテーマとする教育研究活動の場となっている。地域貢献型キャンパスとして堺市との地域連携事業も年間50件以上実施している。

廃校活用の効果

- ・ 大学生に対する専門的教育の実施のみならず、社会人のリカレント教育の積極的な推進、シニア世代への生涯学習の場の提供等、大学の教育研究の成果が地域社会の発展に大きく寄与し、まちの魅力向上にもつながっている。
- ・ 既存校舎を活用することで大学開設にかかる設備投資を抑え、教育環境等の充実にあてられている。

本日の内容

1. 鳥飼まちづくりグラウンドデザインについて
2. 前回の説明会で頂いたご意見の紹介
3. 小学校跡地活用の事例紹介
4. 今後の進め方等について

今後の進め方等について

これまで頂いた様々な意見をもとに、以下のような流れで検討を進めたいと考えています。

意見の論点整理

いただいた意見について、論点の整理を行います。

取組の方向性ごとに
ワークショップ開催
のご案内

鳥飼まちづくりグランドデザインの「取組の方向性」別に、
ワークショップの開催日程をご案内します。
(市HP・市公式LINE等)

ワークショップの
開催（複数回）

該当取組に関心のある方にご参加いただき、市とともに取組の詳細について検討する。

◎取組を実現するために、

1. 課題等を明確化
 2. 対策を検討
 3. 実施体制検討（市、住民等、企業等の役割分担）
 4. 資金調達方法検討
- など

計画を立案

取組の事業としての計画を立案

事業実施

実現！

協働のまちづくりについて

将来予想の実現に向けた取組は、住民や地域活動団体、事業所等との協働により進めていくことを目指します。

【参考】摂津市における「3つの『きょうどう』」と「協働のまちづくり」

【3つの「きょうどう」】

「きょうどう」には3つの考え方があり、どの「きょうどう」も、まちづくりを進めるうえで欠かせない取組みの形態です。

	立場	活動	目的
共同	同	同	同
協同	異	同	同
協働	異	異	同

共同：複数の人や団体が同じ目的のために同じ立場で同じ活動を行う

協同：複数の人や団体が同じ目的のために異なる立場で同じ活動を行う

協働：複数の人や団体が同じ目的のために異なる立場で異なる活動を対等に行う

今後広げていく必要がある
“きょうどう”

【協働のまちづくりとは】

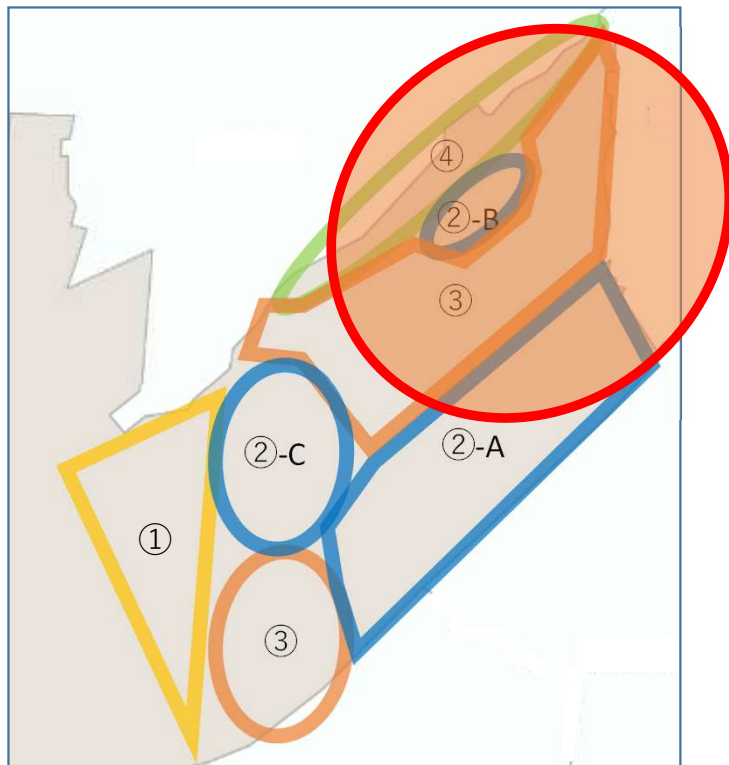
摂津のまちをより良くしていくために、それぞれが個別に取り組むよりも、多様な人や団体が持ち味を生かして連携・協力する(つながる)ことで、より多くの成果を生み出すことです。

コンパクトな摂津市の良さである“顔が見える関係性”を生かしながら、まちづくりを進めていきます。

そして、摂津市独自の取組を生み出し、まちの特色や魅力を発展させていきます。

今後の進め方等について

2Bエリア（居住性向上エリアB）
3エリア（企業と住民の共存発展エリア）
4エリア（田園（農業とのふれあい）エリア）



【2Bエリアの将来予想】
「暮らし」の中に「農」があり、円滑に広域避難ができる

【3エリアの将来予想】
住民と企業が共存、互いに理解し、価値を高め合うことができる

【4エリアの将来予想】
芸術など新たな価値を付加した「農」のある空間ができている

【2B、3、4エリアでの今後の進め方】

2回目の説明会の実施

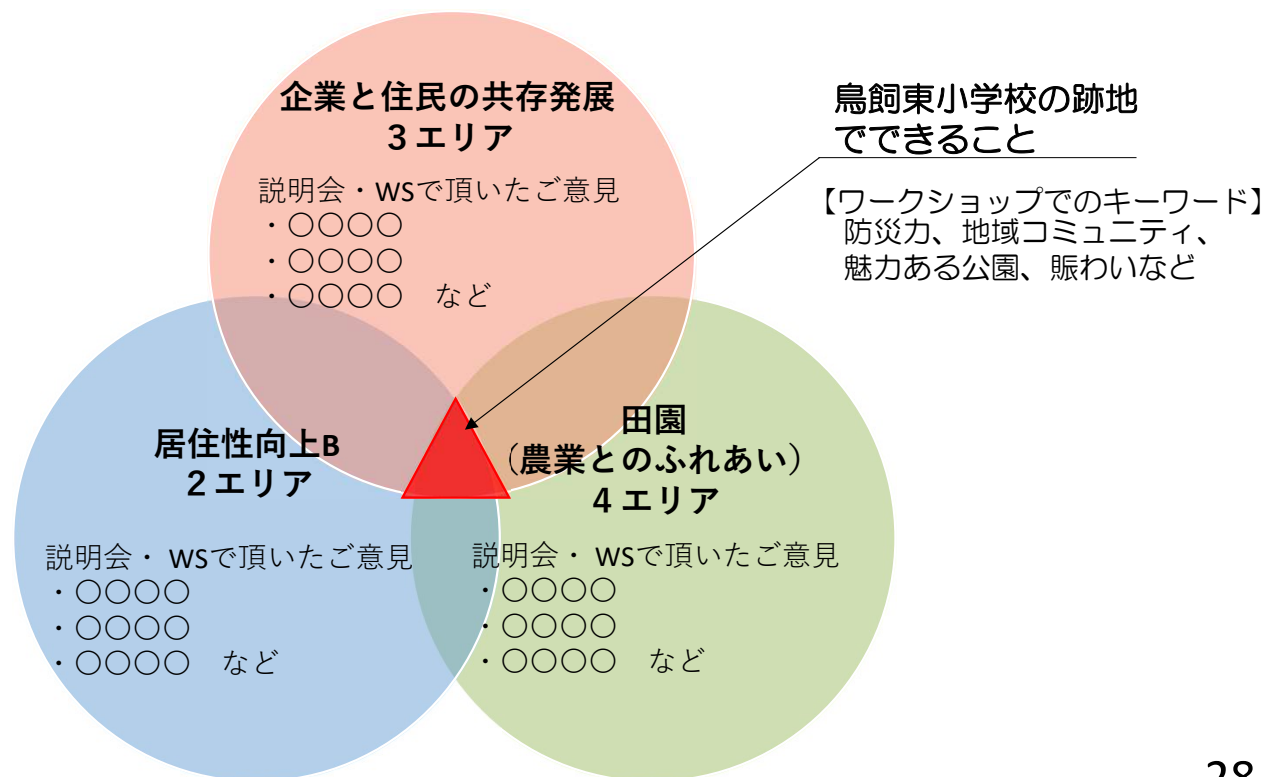
・2B、3、4エリアの鳥飼まちづくりグランドデザインの説明会において、将来をどのようにしていくべきか、どのような課題を解決していきたいかなどについて、住民の皆様と意見交換を行い、将来予想や取組の方向性の確認を行う。また、鳥飼東小学校跡地活用についても、意見交換をしていく。



意見整理とワークショップの開催

・鳥飼東小学校の校区は、エリア2A、2B、3、4と広範囲に跨るため、それぞれのエリアで将来予想の実現に向けた取組み（小学校跡地活用を含む）に関する意見交換を行う。
・グランドデザインのエリア全体にかかる取組みの方向性の①、魅力ある教育環境でそれぞれのエリアでいただいたご意見を踏まえて、跡地活用に関する議論を進めていく。

【鳥飼東小学校跡地活用に向けての取組みのイメージ】



鳥飼まちづくりグランドデザイン説明会

③企業と住民の共存発展エリア 2回目

ご参加ありがとうございました

令和6（2024）年5月26日



グランドデザインへのご意見はこちらから

ご意見・ご感想等何でも
お気軽に送ってください。



メールの場合はこちら↓↓

torikai-machizukuri@city.settsu.osaka.jp

Q1. このエリアでこんな将来になったらいいなと思うものに○をつけてください。

- ①水害発生の恐れがある場合、住民と企業関係者が協働して避難支援を行う。
- ②住民と企業が地域のまちづくりについて議論する良好なコミュニティが形成されている。
- ③コミュニティの担い手として外国籍の住民が活躍し、多文化共生社会が実現されている。
- ④公園では、キッチンカーが出店し、多様な人が集まり賑やかな空間が創出されている。
- ⑤各企業が実施する工場見学や職業体験に近隣市から人々が集まってくる。

Q2. Q1で○を付けられた将来を実現するために必要な取組みを教えてください。

例) このエリアの賑わいのために、市内からも市外からも人が集まる場所をつくる。

Q3. Q2で答えられた取組みの実現に向けて鳥飼東小学校の跡地をどんな風に使っていきたいですか？

例) 道の駅やスポーツセンターを作る。

ご意見シートにご記入いただくか、ご意見フォームへご入力ください。

☆意見募集期間

本日～6月28日（金）

FAXはこちら⇒ 06-6319-5970

☆意見シート回収場所

ご意見フォームはこちら⇒



新鳥飼公民館・鳥飼東公民館・摂津市役所4階政策推進課分室